



# 入居者一人ひとりに 深く寄りそうための挑戦

ベネッセグループは21年前の平成7年に介護事業を開始しました。平成27年11月現在、高齢者向けホーム285拠点を運営しています。

複数のシリーズを展開しており、入居者にご自身のこだわりや価値観、必要とされるケアの内容でお選びいただけるようにしています。

一方、ご入居者お一人おひとりのその方らしさに深く寄りそうために、全シリーズで共通して挑戦していることもあります。その一部をご紹介します。

## ●理念・考え方の浸透

入居者と従業員の「よく生きる」を実現するために、私たちが何を大切にしなければいけないか、その判断基準と行動のあり方を示す「ベネッセスタイルケア宣言」を制定しており、研修や具体事例のなかで、つねに立ち戻るようにしています。

## ●“その方らしさ”を学ぶ工夫

入居前にご自宅などにうかがい、ご本人、ご家族から、今までの生活やこだわりなどをお聞きします。入居後も、その方を知る努力を継続して行っていきます。そこが私たちのスタートラインなのです。

## ●プロフェッショナルを育てる人材育成のしくみ

介護スタッフに求める5つのサービス(例：生き方とこだわりを大切にした生活プラン等)と3つの仕事のスタイル(例：コミュニケーション・チームワーク等)のレベルをステップとして明確にし、それらをクリアすることで等級が上がっていく制度を、平成26年から導入しました。

また、スタッフの知識を客観的に評価していただける介護福祉士資格の取得についても、手当をつけて、目指したいものにしたたり、取得のための学習をサポートしたりしています。

ほかにも研修制度を整えており、たとえば認知症に関して「認知症の人のためのケアマネジメントセンター方式」を身につけ、現場で広めていく役割をもつファシ

リテーターの育成も進めています。

## ●組織で課題を解決するしくみ

現場で対応に苦慮するケースがあった場合には、各エリアに配したエリアナースやエリアST(言語聴覚士)、エリアPT(理学療法士)などがサポートに入ります。また、本部にもサービスを支えるスタッフ組織があり、必要な情報を提供したり相談にのったりしています。

## ●最期まで暮らしていただける体制づくり

24時間365日看護師を配置している「メディカルホーム」では、医師の指示のもと行う医療的ケアの対応の幅も広がっています。

また、最期を迎える場所としても、さらに環境を整えているところです。

\*

弊社では、ご入居後に状況の変化があっても、できるだけ最期までその方らしく暮らしていただけるよう、サービスを拡充してきました。これからも挑戦し続けます。

他社で運営されている住まいも含め、高齢者向け住宅には、さまざまな形態の選択肢があつてよいと思います。その特徴をしっかりと利用者にお伝えして、意欲をもって選択していただくことが重要です。

私たちの事業が、「年をとればとるほど幸せになる」日本をつくる一助になることを願っています。

## 国政 貴美子

くにまさ・きみこ

### ●PROFILE

株式会社ベネッセスタイルケア取締役副社長。株式会社福武書店(現ベネッセコーポレーション)を経て平成14年より介護事業に関わる。平成27年6月から一般社団法人全国特定施設事業者協議会代表理事。

